

科目名		授業形態	担当教員名	
放射性医薬品学Ⅱ		講義	田中 悟	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
放射線医薬品学Ⅱでは核医学診療で用いる放射性医薬品の特徴、関係法令、製造法、臨床適応、品質管理について理解する。				
授業の到達目標				
核医学診療（インビトロ検査、内用療法を含む）に用いる放射性医薬品の種類と特徴、関係法令、放射性核種の製造方法、標識化合物の製造・調整方法、品質管理など、核医学診療（インビトロ検査、内用療法を含む）を実施するにあたり必要な知識を得る。また、放射性医薬品を取扱う上での必要な知識（患者様の医療被ばくおよび医療従事者の職業被ばくの管理を含む）を得る。				
授業計画				
回	内容			
1	放射性医薬品（定義と分類）			
2	放射性医薬品（関係法令）			
3	放射性医薬品（使用目的）			
4	放射性医薬品（製造供給）			
5	放射性医薬品（標識）			
6	放射性医薬品（核種分離とコンパートメントモデル）			
7	放射性医薬品（集積機序）			
8	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅰ）			
9	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅱ）			
10	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅲ）			
11	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅳ）			
12	放射性医薬品（医薬品別集積機序ⅴ）			
13	放射性医薬品（PET）			
14	放射性医薬品（内用療法ⅰ）			
15	放射性医薬品（内用療法ⅱ、インビトロ、品質管理）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	90%	放射性医薬品に関する法律、製造・標識方法、集積機序、内用療法、品質管理等。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点	10%	課題評価。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
核医学検査技術学 改訂3版		日本放射線技術学会	株式会社 オーム社	
放射線技術学シリーズ 放射化学		日本放射線技術学会	株式会社 オーム社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				